

小中一貫教育推進委員会進捗状況

1 体制部会

体制部会は、一体型・連携型・分離型と多様な形態をもつ品川区の今後の小中一貫教育の体制について検討している。一体型については、施設一体型一貫校長連絡会の場を活用し、分離型については体制部会において検討中

(1) 一体型

来年度のフォーラムに向けて、一貫校の設立に向けての参考資料となる「施設一体型一貫校カリキュラム作成の手引き（仮称）」を作成する。

9月 「カリキュラム」作成の意図の確認

10月 プロットの検討 「施設に関すること」、「教育課程に関すること」、「組織的運営に関すること」、「その他」の4部構成とすることに決定

プロットに基づき、一貫校6校のこれまでの取組をまとめていく。今年度中に原稿を作成し、来年度内容の推敲を行う。

11月～1月 プロットに沿って内容の概略について検討

1月～2月 各小中一貫校へのヒアリングにより情報収集

今後、3月末までにヒアリングをもとに内容をまとめて第一次原稿を作成する。来年度、前期中に原稿の校正を行う予定である。

(2) 分離型

体制部会では、「今後の品川区の分離型小中一貫校の在り方」について協議している。

第1回 経緯と今後の方向性、分離型・連携型における課題について協議

「小中一貫教育の定義」を確認の必要性や、区全体で討議することの必要性が提案された。（→教務主任会におけるワークショップの開催※11月14日、1月20日）

第2回 品川区の目指す「分離型小中一貫教育」について協議

「地元を選んでもらう体制を強化すること」「小中一貫教育ガイドラインの作成」などが提案された。

第3回 （1月29日）アンケートや教務主任会におけるワークショップ等を素材に法制化に向けた（分離型）小中一貫教育の方向性について協議

2 地域部会

地域部会では、中学校区を単位とした学校に「品川版学校運営協議会」と「品川版学校支援地域本部」を設置することで、地域の力を学校の教育活動等に活かすとともに、学校の力を地域の諸活動に活かす仕組みを検討。さらに、学校運営協議会の評価部が、自校の取組を参考にしながら、連携校の学校評価を行うことで、客観的な評価活動を目指す。浜川中学校区をモデルとして審議している。

第1回 各関係学校長からの地域連携の現状等について報告

第2回 先進校視察（杉並区立天沼小学校）、コミュニケーションスクールや学校支援地域本部の活動について視察した。

第3回 本区における学校と地域連携の目指す姿について提案し、委員からの意見収集

第4回（1月19日実施）浜川中学校区の品川版学校運営協議会の要綱案および学校支援地域本部（支部）の要綱、さらに品川版学校運営協議会で実施する学校評価の手法について提案し、御意見をいただいた。

3 教育課程部会

品川区における小中一貫教育の拠り所である「小中一貫要領」について、副教材等も含め、成果を検証するとともに、次期学習指導要領を踏まえた改訂等について協議していく。部会の開催時期については未定

新たな教育課題等については、下記のとおり別途、部会を立ち上げ検討を行っている。

（1）英語教育推進会議

国や東京都の動向を踏まえつつ、品川区の英語教育の充実策の在り方について検討を行っている。

第1回 品川区の目指す英語教育の充実案について、事務局案の提示

品川区の目指す方向性については、国の動向と照らし合わせて大筋同じであると確認

第2回 新カリキュラムの実施校展開案やJTEの確保策について

拠点校方式による全区展開、区の非常勤講師の活用および公募方式によるJTEの確保案を検討

第3回 JTEの要件およびJTE研修、全区展開に当たっての指導資料の作成について検討

TOEIC730点以上とするJTEの英語力、35時間分のレッスンプランの実践例の作成等
を検討

第4回 平成27年度モデル校、JTEの採用状況、小学校イングリッシュキャンプ等の報告

中学生を対象とした英語学習の動機づけ、教員研修計画についての検討 等を予定

（2）市民科推進会議

9年間の市民科の成果と課題を踏まえ、道徳の教科化等、喫緊の課題を見据えつつ、今後の市民科の在り方等について検討していく。

第1回 市民科の現状（課題）について検討（主に新入・転入教員への周知について）

市民科を広げていくため、各校に実施してもらう「市民科研修会」資料（パワーポイント）を作成。手段としては、来年度4月に予定している市民科推進教師研修会で資料を周知し、各校で実施してもらう。

第2回 各校で行う市民科研修会プレゼン資料を検討。また、市民科の充実を図るため、模範授業の推進や資料の蓄積等の方策が提案される。さらに、10月に中教審から出された「道徳に係る教育課程の改善等について（答申）」を受けて、市民科の方向性を確認する。

第3回 （2月27日）各校で行う市民科研修会プレゼン資料の完成。市民科の充実を図るための方策を検討

(3) 体力向上検討委員会

本委員会では、「運動の日常化部会」「授業改善部会」「生活習慣改善部会」の3つ部会を立ち上げ、本区の児童・生徒の体力向上を図る。

第1・2回 本区の課題と各校の取組の洗い出し、今後の体力向上の方策について協議

第3回 「区内共通の体力向上の取組の必要性」「教員の授業力向上」「ワンミニッツエクササイズによる運動習慣の確立」が提案された。

第4回 それぞれの部会において体育部員を中心に作業部会を開催し、内容を検討していくことに決定

第5回 作業部会で作成した資料をもとに、取組内容の精選を行う。

体力向上推進モデル校については現在調整中。

「区内共通の取組内容」については現在部会にて内容を検討中。「ワンミニッツエクササイズ」の内容についても部会にて検討後、モデル校で実施する。

(4) 小中一貫特別支援教育体制推進協議会

発達障害の児童等に対応する支援教室の在り方、合理的配慮、今後の特別支援教育の充実について検討している。

第1回 障害者差別解消法を念頭に「今後の小中一貫特別支援教育の充実」について協議

第2回 学習指導員および介助員制度の効果的な活用、児童・生徒への個別配置から各校への配置ならびに通級担任による訪問指導の在り方について協議

第3回 平成26年度インクルーシブ教育システム構築モデル事業の進捗状況報告および今後の特別支援教育の在り方について協議

(5) ICT活用推進委員会

ICT活用推進委員会はその下に、プロジェクトを導入した学校が情報共有するため、「活用実践校連絡会」、タブレットを導入した学校のICT活用を推進するために「タブレット運用検討部」「コンテンツ検討部」「教育会の特別支援部」の計4分科会を設置し、各校のICT活用を推進させる。

第1回 「タブレット運用検討部」・・・『各校の運用状況』『各校の課題解決へのアイデア』について情報共有した。

「コンテンツ検討部」・・・教科ごとにインストール済の学習コンテンツの画面や問題数などについて、より指導の実態に合った改善案を検討。また、制作中の中学校版も、現段階の構想について、教員から意見を収集。

第2回 (2月26日)

「タブレット運用検討部」・・・各校の活用例を報告予定

「コンテンツ検討部」・・・前回の内容を反映したコンテンツの検討予定